

2019 年秋にオープンする明治神宮ミュージアムは、明治神宮の鎮座百年祭記念事業の一環として設計されました。東京の新国立競技場も設計した有名な建築家である隈研吾氏によるものです。隈氏の作品は木材の使用で知られていますが、このミュージアムも例外ではありません。境内の森の中に建てられ、神橋に隣接し、南参道の直ぐ側です。

建物は全体が可能な限り周囲の森とシームレスに融け込むように設計されました。屋根は空に散る木の葉にインスパイアされ軽やかな印象を与えます。また垂直ルーバー（木製のシャッター）は裏側のガラスと相まって、このミュージアムを自然の一部のように感じさせています。

2 つの階と 3,200 平方メートルに広がるこのミュージアムは、明治天皇と昭憲皇太后の遺品を展示します。また、訪問者が明治神宮や日本文化をより深く理解するための展示会も開催します。